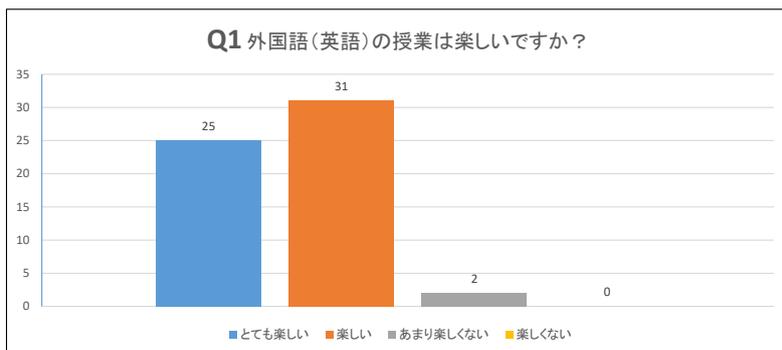
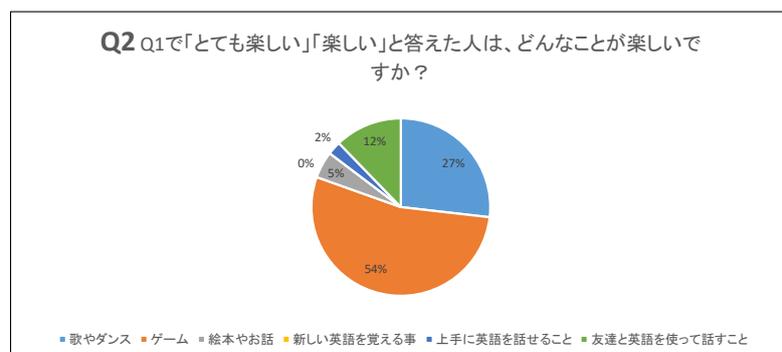


令和4年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(海東小学校)



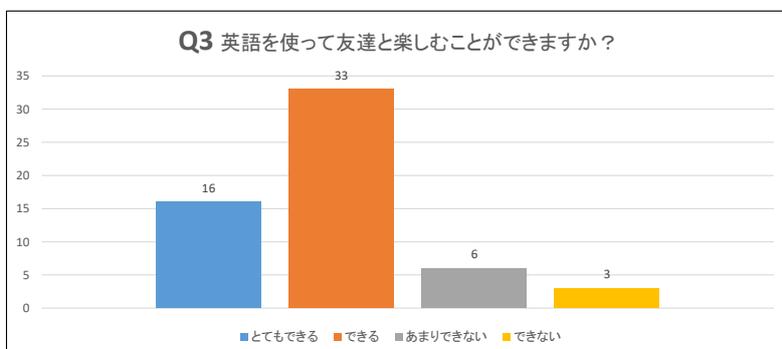
【Q1について】

- ・ALTが授業に入り、児童に明るく元気に関わってくださっている。
- ・ALTとの英語を使ったコミュニケーションに興味を持っている児童が多く見られる。
- ・高学年になると専門的な内容がでてくるため、難しさを感じている児童が数名見受けられる。



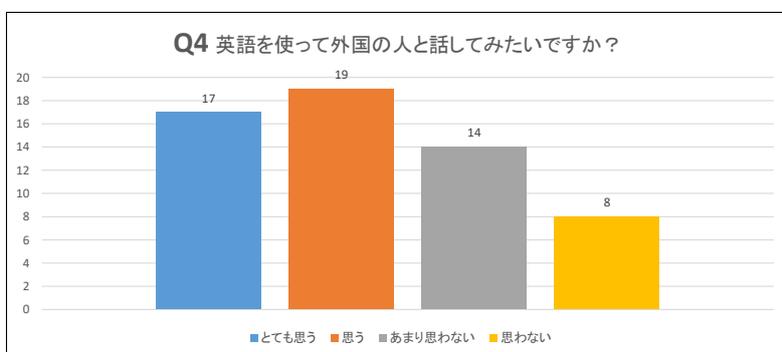
【Q2について】

- ・歌やダンス、ゲームなどの体を使った活動を好意的に受けとめている児童が多い。
- ・新しい英語を覚えることに喜びを感じている児童は0人であった。これは、覚えた英語を実際に使う機会が少ないためだと考えられる。また、英語を活用する必要感を感じていないことも考えられる。



【Q3について】

- ・自分を表現することが苦手なため十分楽しめていない児童が見られるが、概ね英語を使ってコミュニケーションをとることを好意的に受けとめている。
- ・学習活動に協働的な学びを計画的に組み込んだため、繰り返し練習することで英語を使ったコミュニケーションに慣れてきている。



【Q4について】

- ・「話してみたい」「思わない」がほぼ同数であった。ALTの他に英語を試すチャンスが少ないことが要因としてあげられる。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

- ・子供たちがとても楽しそうに英語の学習をしていて、いいなあと思います。
- ・学年が上がると内容も難しくなり大変ではないかと思えます。タブレットやデジタル教科書をつかっているのが驚きました。

【考察・今後の展望等】

- ・今後も引き続きALTと連携を図り、英語の活用場面を想定したコミュニケーション活動を授業の中で多く取り入れていきたい。